

そ
れ
ぞ
れ
の
真
実

2022
Ango

安吾

ANGO SAKAGUCHI

安吾の会2022読書会

『墮落論』『桜の森の満開の下』などの作品で知られる、新潟市出身の作家坂口安吾。一昨年、未発表の原稿が発見され『残酷な遊戯』（春陽堂書店）として公開されるなど、ますます注目を浴びています。その安吾読書会を本年も開催いたします。初心者の方でも気軽に参加できます。今年は3月から9月までの毎月第二（8月のみ第四）土曜日開催で、全7回開催します。また、今年より安吾唯一の実子である坂口綱男さん案内による「安吾まち歩き」と同日開催します。まち歩きと読書会、両方のご参加も大歓迎です。

■安吾の会2022読書会は会場が2ヶ所で開催されます。

新潟教育会館 2 階会議室（第1回、2回、5回、6回、7回）

新潟市中央区西大畑町590-3 tel.025-222-2971

砂丘館（第3回、4回）

新潟市中央区西大畑町5218-1 tel.025-222-2676

日時 / 3月～9月の毎月第二（8月のみ第四）土曜日 16時から（18時終了予定）

参加費 / 500円

申込方法 / 新潟・市民映画館シネ・ウインド（tel.025-243-5530）へ電話にて申込

■第1回 3月12日（土） 教育会館

「安吾とサブカルチャー」

使用テキスト「不良少年とキリスト」

案内人：西川蒼（「安吾の会」会員）

■第2回 4月9日（土） 教育会館

「映画と演劇の間で安吾を語ること
～残酷な遊戯・花妖を題材に～」

使用テキスト「残酷な遊戯」「花妖」

案内人：梨本諦鳴（映画監督・映像作家）

■第3回 5月14日（土） 砂丘館

「安吾と佐藤優ーアイデンティティとパトリオティズム」

使用テキスト「地方文化の確立について」

案内人：本間大樹（「安吾の会」会員）

■第4回 6月11日（土） 砂丘館

「安吾と宮澤賢治を巡って」

使用テキスト「教祖の文学」

案内人：鈴木良一（詩人）

■第5回 7月9日（土） 教育会館

「安吾ーその多面性と多様性」

使用テキスト「安吾巷談、吹雪物語、日本文化私観」ほか

案内人：永田幸男（「まちなかの文学を歩く会」会長）

■第6回 8月27日（土） 教育会館

「安吾と北一輝」

使用テキスト「墮落論」「続墮落論」「日本改造法案大綱」

案内人：松澤顯治（パブリックホールディングス㈱代表取締役）

■第7回 9月10日（土） 教育会館

「安吾と古本」

使用テキスト「坂口安吾蔵書目録」

案内人：三原洋介（フィッシュ・オン店主）

問い合わせ：安吾の会事務局（新潟・市民映画館 シネ・ウインド内）
tel.025-243-5530

■街歩き

「安吾 風の館」見学と
安吾ゆかりの地めぐり

日時 / 3月～9月 第2土曜日（8月のみ第4土曜日）13時～14時半

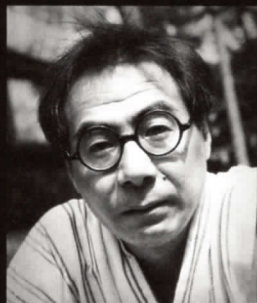
（3月12日、4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、8月27日、9月10日）

集合 / 「安吾 風の館」 参加費 / 500円 定員10名

申込方法 / 新潟・市民映画館シネ・ウインド（tel.025-243-5530）へ電話にて申込

問い合わせ / 安吾の会事務局（新潟・市民映画館シネ・ウインド内） tel.025-243-5530





坂口安吾

(さかぐち あんご)

1906(明治39)年10月20日、新潟市西大畑町に生まれる。旧制新潟中学から東京の豊山中学に編入学、小学校の代用教員を経て東洋大学印度哲学倫理学科卒。敗戦後の46年に『墮落論』を発表、「人間は墮落する。義士も聖女も墮落する」というメッセージが廃墟に佇む人々に衝撃を与え、一躍脚光を浴びる。以後、太宰治、織田作之助らとともに無頼派の旗手として小説、評論、エッセイなど旺盛な創作活動が続ける。日本の伝統主義や権威の欺瞞性を批判する鋭い文明批評を展開し、戦後の文学や思想に大きな影響を与えた。55年2月17日、桐生市の自宅で脳出血のため48歳で死去。主な作品に『日本文化私観』『白痴』『桜の森の満開の下』『不連続殺人事件』。日本の古代史や人々の暮らしを取材したルポ『安吾新日本地理』『安吾新日本風土記』ほか。

安吾の会 2022年 読書会

3/12
(土)

第1回 3月12日(土) 教育会館 「安吾とサブカルチャー」

使用テキスト「不良少年とキリスト」

案内人:西川蒼(「安吾の会」会員)

安吾の『不良少年とキリスト』は安吾が太宰のことを書いた作品だが、漫画やゲームなどで使われ、キャラクターとなっている。現代のサブカルから生まれる安吾像に迫る。

4/9
(土)

第2回 4月9日(土) 教育会館 「映画と演劇の間で安吾を語ること ～残酷な遊戯・花妖を題材に～」

使用テキスト「残酷な遊戯」「花妖」

案内人:梨本諦鳴(映画監督・映像作家)

2020年に発見された『残酷な遊戯』は大作『花妖』に通じる女性の内面に迫った作品。安吾作品の視覚的で演劇性に溢れている部分を明らかにする。

5/14
(土)

第3回 5月14日(土) 砂丘館 「安吾と佐藤優 -アイデンティティとパトリオティズム」

使用テキスト「地方文化の確立について」

案内人:本間大樹(「安吾の会」会員)

安吾賞を受賞した作家佐藤優氏は、自身のアイデンティティを母親の実家である沖縄に見る。安吾もまた故郷に対する複雑かつ強烈な思いを持つ。その底に潜む共通のパトリオティズム(愛郷心)を探る

6/11
(土)

第4回 6月11日(土) 砂丘館 「安吾と宮澤賢治を巡って」

使用テキスト「教祖の文学」

案内人:鈴木良一(詩人)

文壇の教祖となった小林秀雄に対する思いをまとめた「教祖の文学」の最後に、宮沢賢治の「眠にて言ふ」と言う詩が登場する。安吾と賢治のつながりを読み解く。

7/9
(土)

第5回 7月9日(土) 教育会館 「安吾—その多面性と多様性」

使用テキスト「安吾巷談、吹雪物語、日本文化私観」ほか

案内人:永田幸男(「まちなかの文学を歩く会」会長)

純文学を書きながらも、評論やエッセイ、探偵小説、歴史小説、ルポルタージュと、安吾の活動は幅広い。安吾の多面性と多様性について論じる。

8/27
(土)

第6回 8月27日(土) 教育会館 「安吾と北一輝」

使用テキスト「墮落論」「続墮落論」「日本改造法案大綱」

案内人:松澤顯治(パブリックホールディングス代表取締役)

安吾は天皇を日本の歴史が生み出した巧みな作品であり、カラクリと説く。天皇を中心とした社会主義国家を目指した一輝も、どこかに天皇を一つの作品とする視点がある。二人の天皇に対する捉え方の意外な共通点とは。

9/10
(土)

第7回 9月10日(土) 教育会館 「安吾と古本」

使用テキスト「坂口安吾蔵書目録」

案内人:三原洋介(フィッシュ・オン店主)

安吾は古本をたくさん購入している。新潟市文化振興財団が出している「坂口安吾蔵書目録」から、安吾が購入した古本に注目し、安吾の読書、古本に対する向き合い方を分析する



新潟市「安吾 風の館」

「安吾 風の館」展示

「安吾風の館」では、年間を通じて企画展を行っています。
新潟市中央区西大畑5927-9 tel.025-222-3062

1月～3月 「安吾って!? Part4」

4月～8月 「原作 坂口安吾—映画を中心に—」(予定)

9月～12月 「捕物帖」(予定)

23年1月～3月 「安吾って!? Part5」(予定)



■街歩き

「安吾風の館」見学と安吾ゆかりの地めぐり

日時/3月～9月 第2土曜日(8月のみ第4土曜日) 13時～14時半
(3月12日、4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、
8月27日、9月10日)

集合/「安吾 風の館」

参加費/500円 定員10名

申込方法/新潟・市民映画館シネ・ウインド
(tel.025-243-5530)へ電話にて申込

■安吾忌お知らせ

2月17日の安吾の命日に新潟で行われる安吾忌についてご連絡します。

日時/2月17日(木)

14時 安吾風の館集合。

15時 秋葉区の大安寺にて墓参。その後「桜の森の満開の下」の碑(新潟図書館)、「あちらこちら命がけ」の碑(JR新潟駅東口近く)などを見学。

17時 新潟県護国神社「ふるさは語ることなし」の碑で散会。
.....

<安吾の会>

安吾の会は、1986(昭和61)年にA(ANGO)プロジェクトとして発足し、1987年10月20日に安吾の会となりました。以後、毎年の読書会、10月20日の安吾生誕祭などを企画・運営。季刊「安吾雑報」を発行するなどの活動を行っています。また、1月2月と10月から12月の毎月第1火曜日19時から、中央区礎町のクロスパル新潟にて定例会を行っています。

●読書会各回の内容は変更になる場合があります

主催:安吾の会 共催:新潟市 協力:まちなかの文学を歩く会/新潟・市民映画館 シネ・ウインド

問い合わせ:安吾の会事務局(新潟・市民映画館 シネ・ウインド内)新潟市中央区八千代2-1-1 tel.025-243-5530